

第1号議案

平成26年度 事業報告書承認の件

自 平成26年4月1日
至 平成27年3月31日

一般社団法人全国牛乳流通改善協会

I. 事業の実施項目と内容

平成26年度は、公益目的事業としての「普及啓発事業」と全改協の固有の事業を行った。

1. 普及啓発事業

(1) 体験事業（牛乳屋さんのお仕事体験）

- ・実施目的：小学校では給食があり牛乳を飲む習慣があるが、中学校では給食を実施している学校が減ることから、育ちざかりの中学生が牛乳を飲む機会は小学生に比べると減少する。

中学校の授業に「職業体験」があるが、中学生を受け入れる職場が少ない状況にある。そこで全国の全改協の加盟店が受け入れ先となって中学生に実際の業務を体験してもらおう。体験を通して働くことの意義や基本を学んでもらうと同時に、牛乳乳製品が成長期の身体に有用な食品であることの理解を深め、中学生が牛乳を飲む機会を増やすことを促し、中学生の食生活の改善、健康増進並びに体躯向上に寄与する。

- ・実施方法：今年度から、幼稚園や保育所及び小学校に対して「職場訪問」「社会科見学」等の場として提案した。

文部科学省の職業体験マッチングサイト「子どもと社会の架け橋となるポータルサイト」に掲載するとともに、実施する加盟店が職場体験の計画書を教育委員会に提出した。

計画書は教育委員会から小中学校に案内され、希望する小中学校から申し込みがあった。実施に向けた詳細は、小中学校と加盟店とで行った。

- ・実施時期：平成26年7月～平成27年2月

- ・実施実績：今年度は6店の加盟店にて実施され、24名の小中学生が牛乳販売店の業務を見学・体験した。

北海道	(株)ハシモト	3名（中学生）
宮城県	(株)小岩井ミルヒ	4名（中学生）
秋田県	(有)伊藤食品販売	2名（中学生）
愛知県	(有)西浦乳販	11名（小学生）
岐阜県	東海乳業(株)	2名（中学生）
岡山県	(株)オハヨーミルクネット	2名（中学生）

(2) 啓発事業（妊産婦への牛乳促進）

- ・実施目的：牛乳はバランス良く栄養が摂れ、他の食品に比べてカルシウムが豊富でしかも吸収が良いことから健康には有益な食品である。

特に、妊娠中や授乳期の女性は、栄養の補給がいつも以上に必要になる時期であることから、妊産婦や授乳期の女性に対し、牛乳の飲用を促す啓発活動を行い、妊産

婦や胎児の栄養補給、発育促進及び健康増進に寄与する。

- ・実施方法：今年度は、インターネットでの募集と昨年同様の加盟店での妊産婦獲得の二通りで実施した。

妊産婦の飲用を促すため3ヶ月間牛乳代の半額相当分を助成した。

尚、今年度は期間を限定せず通年での実施とした。

- ・実施時期：平成26年7月～平成27年3月

- ・実施実績：インターネットでの募集と加盟店での獲得活動によって合計46名の妊産婦に対して助成を行った。

①インターネットでの募集 10名

(福島県1名、埼玉県1名、東京都3名、山梨県1名、長野県1名、愛知県1名、静岡県1名、宮崎県1名)

②加盟店による妊産婦獲得 36名

(北海道9名、秋田県1名、埼玉県1名、新潟県8名、三重県17名)

(3) 広報物配布事業（ミルクカレンダー）

- ・事業目的：牛乳は各種栄養素がバランス良く含まれ手軽に利用できる食品である。

牛乳の利用を更に拡大するためには「飲む」だけではなく「料理」に活用することが有効である。

牛乳に含まれる栄養素とその効用、調理する基本及び一年365日の牛乳を利用した料理レシピ、牛乳乳製品の情報並びに宅配牛乳の利便性等を掲載したミルクカレンダーを作成し、消費者に無料配布する。「料理する」ことで食生活の改善や健康増進に繋がることを目的とする。

- ・実施方法：今年度は一般社団法人Jミルクから委託され、制作費はJミルクが負担したが、制作及び取りまとめは全改協が担当した。内容は、Jミルクが普及を目指している「乳和食」の料理レシピを掲載した。

都道府県流改協の加盟店を経由して、一般消費者に無償配布した。

- ・実施時期：平成26年5月～12月

・実施実績

都道府県	部数			都道府県	部数		
	全改協からの無償配布数	加盟店からの有償での発注	合計		全改協からの無償配布数	加盟店からの有償での発注	合計
北海道	20,000	73,750	93,750	大阪	34,800	24,600	59,400
青森	8,600	7,200	15,800	兵庫	23,000	33,400	56,400
岩手	10,600	16,500	27,100	奈良	7,200	10,400	17,600
宮城	15,000	42,600	57,600	和歌山	21,000	1,600	22,600
秋田	18,800	18,600	37,400	鳥取	0	137,900	137,900
山形	12,000	14,000	26,000	島根	0	28,300	28,300
福島	34,000	16,000	50,000	岡山	14,400	36,600	51,000
茨城	26,000	33,900	59,900	広島	25,600	37,900	63,500
栃木	11,800	25,250	37,050	山口	9,600	30,600	40,200
群馬	12,000	30,600	42,600	徳島	20,000	12,400	32,400
埼玉	30,800	54,100	84,900	香川	22,600	5,400	28,000
千葉	34,600	96,000	130,600	愛媛	2,800	27,300	30,100
東京	42,200	61,550	103,750	高知	0	21,200	21,200
神奈川	31,400	69,600	101,000	福岡	18,600	58,800	77,400
山梨	16,400	14,000	30,400	佐賀	9,000	11,400	20,400
長野	19,000	27,690	46,690	長崎	1,400	17,400	18,800
新潟	16,000	77,700	93,700	熊本	17,400	41,500	58,900
富山	3,600	13,800	17,400	大分	15,400	6,500	21,900
石川	10,000	14,300	24,300	宮崎	11,600	27,400	39,600
福井	8,200	8,000	16,200	鹿児島	29,200	10,100	39,300
岐阜	13,000	10,500	23,500	全改協	200	0	200
愛知	22,800	52,300	75,100	全改協計	750,000	1,485,670	2,235,670
三重	11,400	41,700	52,100	Jミルク	50,000	0	50,000
静岡	7,800	45,900	53,700	総計	800,000	1,485,670	2,285,670
滋賀	10,600	16,420	27,020	前年比	100.0%	95.0%	96.7%
京都	19,600	23,010	42,610				

(全改協の事業としては無償分75万部。有償分は、都道府県流通改善協会からカレンダー制作会社に直接制作発注したもの。Jミルクの5万部は、普及協会に無償配布された。)

(4) 事例集発行事業 (牛乳販売店優良事例)

- ・実施目的：牛乳販売店は、単に牛乳の配達だけではなく、地域の安全パトロール、独居老人の見守り、高齢者世帯の買い物等の支援などを行っている。現在、消費者の牛乳購入の主力はスーパー等に移行しており、牛乳販売店からの購入は減少しているが、牛乳販売店は地域社会にとって不可欠な存在である。地域社会に貢献しながら飲用牛乳を広く普及させている加盟店の事例を広く全国から募集し、中央にて発表し、表彰する。それらの内容を「優良事例集」としてまとめ、全国の加盟店に配布し、飲用牛乳の普及に活用する。牛乳の普及拡大を通して、国民の食生活の改善、体躯の向上並びに健康増進等に寄与する。

- ・実施方法：会員である都道府県流改協から、少子高齢社会の中で「お客様」や「地域社会」に貢献し、飲用牛乳を広く普及させている加盟店の事例を募った。全改協では、全ての応募について審査委員会に諮り、審査基準に則り発表店を決定した。発表会では審査基準に則り表彰店を選定し表彰した。

- ・実施時期：平成26年7月～平成27年3月

- ・実施実績：今年度も都道府県流改協から直接応募する方法にて実施した。

全国で26店の応募があり、その中から16店が流改協代表として推薦された。第一次審査会では厳正な審査を行ない、中央発表候補店として9店を選出した。その中央発表候補店9店に対して経営専門家審査委員が訪問し、経営内容、販売活動内容等を調査した。その調査結果を元に第二次審査会を開き、あらためて審査採点を行なった結果、9店全てを中央発表店とした。

中央発表会時に中央審査会を開き、第二次審査会での採点と発表内容を併せて審査し、最優秀店、優秀店を決定し表彰した。

発表店の店舗概要や活動内容をまとめた「優良事例集(第27集)」は5,300部印刷し、都道府県流改協を経由し加盟店等に配布した。

同時に、広く一般からも閲覧できるようにホームページにも掲載した。

・表彰店

最優秀賞（農林水産大臣賞）

鹿児島県代表 株式会社しのはら

代表 篠原 裕一氏

優秀賞（農林水産省生産局長賞）

北海道代表 有限会社スノーミルク

代表 齋藤 正敏氏

優秀賞（一般社団法人 Jミルク会長賞）

徳島県代表 株式会社岩橋

代表 岩橋 公二氏

優秀賞（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長賞）

宮城県代表 小岩井牛乳女川販売店

代表 和泉 進一氏

優秀賞（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長賞）

茨城県代表 豊ミルクセンター

代表 菅野 達雄氏

優秀賞（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長賞）

神奈川県代表 ウーベル横須賀ミルクセンター

代表 上村 英輝氏

優秀賞（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長賞）

岡山県代表 森永北園ミルクセンター

代表 尾崎 隆氏

優秀賞（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長賞）

香川県代表 宅配みるく便

代表 浦野 裕之氏

優秀賞（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長賞）

熊本県代表 ミルクデリバリー山下

代表 山下 博氏

・第一次審査委員（第二次審査委員も同じ）

佐藤 卓（中小企業診断士）
 小畑 秀之（中小企業診断士）
 窪田 靖生（中小企業診断士）
 橋本 正敏（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長）
 村田 武司（一般社団法人全国牛乳流通改善協会副会長）
 北川 忠男（一般社団法人全国牛乳流通改善協会副会長）
 中西 園彦（一般社団法人全国牛乳流通改善協会専務理事）

・中央審査委員

前田 浩史（一般社団法人 Jミルク専務理事）
 三宅 均（公益財団法人 食品流通構造改善促進機構専務理事）
 渡邊佳三郎（全国牛乳商業組合連合会会長）
 佐藤 卓（中小企業診断士）
 橋本 正敏（一般社団法人全国牛乳流通改善協会会長）
 村田 武司（一般社団法人全国牛乳流通改善協会副会長）
 北川 忠男（一般社団法人全国牛乳流通改善協会副会長）
 中西 園彦（一般社団法人全国牛乳流通改善協会専務理事）

・「優良事例集」の配布数

流改協	配布数	流改協	配布数	流改協	配布数
北海道	150	長野	150	岡山	100
青森	50	新潟	110	広島	170
岩手	60	富山	25	山口	70
宮城	100	石川	110	徳島	140
秋田	100	福井	60	香川	170
山形	60	岐阜	90	愛媛	20
福島	250	愛知	150	福岡	150
茨城	200	三重	80	佐賀	60
栃木	90	静岡	50	長崎	15
群馬	90	滋賀	80	熊本	100
埼玉	200	京都	150	大分	100
千葉	250	大阪	250	宮崎	90
東京	290	兵庫	157	鹿児島	150
神奈川	230	奈良	50	全改協	63
山梨	120	和歌山	150	合計	5,300

2. 全改協の固有事業

(1) 組織強化事業

① 機関紙「全改協だより」

全改協の活動内容や事業活動を加盟店に周知し、牛乳販売店の経営に関係のある酪農乳業の各種情報、牛乳に関する各種情報、販売店経営の活性化、近代化を図るための資料や情報並びに全改協事業の進捗状況や会議内容について掲載した。

今年度は4回発行し、都道府県流改協を通じて全国の加盟店に配布するとともに、ホームページにも掲載した。これらの情報は、加盟店が発行している情報紙で消費者に提供された。

第70号（7/15）・・・第37回通常総会の内容、平成26年度事業計画の概要、創立40周年式典、牛乳の日・牛乳月間の取組み報告

第71号（11/17）・・・平成26年度事業計画の概要、都道府県牛乳流通改善協会の会長名及び事務局連絡先、乳和食

第72号（1/1）・・・新年ご挨拶、新規事業のお知らせ、全改協事業の中間報告、第2回牛乳ヒーロー&ヒロインコンクール

第73号（3/10）・・・第27回牛乳販売店優良事例発表会の結果報告、全改協からのお知らせ

② 安全パトロール

全改協の地域貢献活動の一環として、各都道府県の警察と協力し、加盟店が配達時等に地域で安全パトロールを行う。今年度は、主に実施の準備を行った。

パトロール用のステッカーの制作を計画し、都道府県警察の名入れをする了承を各流改協を通じて都道府県警察から取り付けた。同時に、公益財団法人全国防犯協会連合会からもステッカーへの名入れの承諾を得、これらの名を入れたステッカーの作成を行った。

各都道府県流改協には、この活動の実施にあたり、協力宣言の伝達式、パトロールの出発式を計画し、できるところから実施するよう依頼した。

3. 事業会議（地区別代表者会議）

従来、総会後に開催していた流改協事務局担当者会議と秋に開催していた流改協会長会議を廃止し、流改協会長と事務局員と一緒に出席する「地区別代表者会議」を総会後の6月に全国4地区にて開催した。

会議では、(1)日本の酪農乳業界における全改協の位置付け及び役割、(2)平成26年度全改協の事業内容等の説明を行なった。

全改協からは、会長、副会長、専務理事及び事務局が出席、都道府県流改協は、37流改協から73名の出席があり、活発な意見交換が行なわれた。

開催日と開催地は次のとおり

- ・ 6月6日 仙台（ホテルモントレー仙台）
- ・ 6月7日 東京（アルカディア市ヶ谷）
- ・ 6月13日 福岡（TKPガーデンシティ博多）
- ・ 6月14日 大阪（ホテル大阪ベイタワー）

4. インターネットを使った広報活動

情報の周知並びに提供の迅速化、宅配（牛乳・販売店）の啓蒙活動を図るために、ホームページを使い、関連情報をタイムリーに掲載し、必要な部分の更新を都度行った。

ホームページでは事業の計画、報告書のフォーマットを掲載し、流改協にてダウンロードして利用できるようにした。今年度から更に広く情報を発信・拡散させるために、ツイッターとフェイスブックを開設した。

5. 関係団体への協力

酪農乳業界の発展のために、関係団体とは常時密接に連携をとり、情報交換、協議、検討を行った。特に、一般社団法人Jミルクの正会員として理事会、普及専門部会及びマーケティング委員会に出席した。

牛乳の日・牛乳月間の告知活動については、生処販の一翼を担う団体として、告知ポスターとリーフレットを流改協を通じて加盟店に配布すると共に、ミルクカレンダーにおいても6月のカレンダーに告知し、広く消費者に知ってもらうように努めた。

また、公益財団法人食品流通構造改善促進機構の理事の一員として理事会に出席し、他業界団体との交流のきっかけを掴んだ。

以上

平成26年度 主な会務・事業等の概要

【全改協】

26年	4月15日	監事監査開催
	4月23日	第1回理事会開催
	5月20日	第2回理事会開催
	5月20日	第37回通常総会開催
	5月20日	第3回理事会開催
	5月20日	創立40周年式典開催
	6月6日	地区別代表者会議開催（仙台）
	6月7日	〃（東京）
	6月13日	〃（福岡）
	6月14日	〃（大阪）
	6月24日	第4回理事会開催
	6月24日	第1回臨時総会開催
	9月26日	第1回三役会開催
	10月10日	第27回牛乳販売店優良事例発表会 第一次審査会開催
	11月13日	第5回理事会開催
	12月12日	第27回牛乳販売店優良事例発表会 第二次審査会開催
27年	2月4日	第6回理事会開催
	2月5日	第27回牛乳販売店優良事例発表会開催
	3月6日	第7回理事会開催

【Jミルク】

26年	5月20日	監事監査に担当役員出席
	5月28日	第1回理事会に担当役員出席
	5月31日	牛乳の日記念学術フォーラムに担当役員出席
	6月18日	通常総会に担当役員出席
	9月18日	第1回普及専門部会に担当役員出席
	9月25日	第2回理事会に担当役員出席
	11月29日	第2回牛乳ヒーロー＆ヒロインコンクール表彰式に担当役員出席
27年	1月22日	第3回理事会に担当役員出席
	2月6日	第2回普及専門部会に担当役員出席
	2月18日	第4回理事会に担当役員出席
	3月5日	第2回臨時総会に担当役員出席

【食品流通構造改善促進機構】

26年	6月10日	第1回理事会に担当役員出席
	9月11日	第24回優良経営食料品小売店等表彰事業に応募
27年	2月24日	第24回優良経営食料品小売店等表彰事業表彰式に出席

以上